

●第55号(一九七七年九月)

特集・都市における学校

現代都市における学校

戦後学校設置の経過と展望

人口急増と学校施設の対応その問題点と展望―寺門敏雄

中島 晋

学校開放と地域の結びつき

①地域社会と学校の役割

②現地にみる学校開放

学校建設計画再考序説

行政研究

横浜市教育局プランの開発

杉千賀子 箭内昭夫 渋谷 英 太田 武

『広報よこはま』の読み方・読まれ方

地方交付税制度の問題点

新書紹介 「知」の探検学

●第56号(一九七七年二月)

特集・低成長下横浜の行財政

低成長時代の地方財政

地域経済の確立へ向けて 横浜の都市づくりへの

視点

横浜市政重点課題の変化と展望

住民要求と自治体予算の橋渡し

横浜市商業の特質

行政研究

公営企業会計への繰出金の考え方

公園の管理と利用・その実態

草の根の国際交流

新書紹介

わがまち―その財政

●第57号(一九七八年三月)

特集・地区計画と住民

わがまち・わが区への関心

①区における地区カルテづくりの動き

②総合的な地区資料

③地区計画・地区カルテへの発想の背景と期待―大野紀雄

④調査から地区カルテづくりへ―中区民の意識と生活調査研究グループ

地区カルテ・地区計画の課題

地区計画づくりの基礎的条件

①新しい街づくりの記録

②地区における基礎情報の収集公開システムのあり方

③土地の確保とコントロール

④市民がつくる政策統計

⑤川崎市の地区カルテ

⑥地区カルテと地区計画のもつ意義

地区計画をどう理解するか

地区計画と市街地整備

行政研究

渡辺英男

松田泰征

梅谷泰久

塩原恒文

君嶋武胤

竹内礼三

高見沢邦郎

日端康雄

石阪丈一

中塚敏昭

青木虹二

●第58号(一九七八年六月)

特集・都市における資料館

横浜の資料館像

座談会開港資料館と市民・運営法に望む

開港・明治期の横浜資料

①開港期の横浜内外資料

②明治期横浜の貿易とその資料

横浜の開港と町づくり

日本の文書館

外国の文書館と海外資料

①英米の史料館

②ジャーディン・マセソン商会文書のことども

行政研究

二つの文書館・藤沢・埼玉両文書館の実情

横浜市の文書保存管理について

問題点と改善の方向

福祉の町づくりとその課題

行政資料

文獻紹介

最近のアメリカの都市政治研究の動向

新書紹介

現代の公共問題と市民

上野欣計

長島熱夫 加藤雄一

宅地開発調査グループ

遠山茂樹

中村紀一

山本健次郎

石井 孝

山口和雄

田村 明

青木虹二

米川伸一

服部一馬

高木邦雄、外

杉山 彰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

鳴海正泰

1978年9月30日

編集・発行——横浜市都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

●横浜市のデータ

人口——2,723,116人<53.8>

世帯数——816,445<53.8>

面積——422.02km²<53.8>

山林面積(内・調整区域)——5,740ha(2,589ha)<50.2>

緑地保存事業保存地区——2,500筆・331ha<53.3>

市民の森——12ヵ所・235ha<52.3>

農地面積(内・調整区域)——4,528ha(2,560ha)<50.2>

農業専用地区——16地区・688.3ha

公園面積(含県立)——490.06ha<53.7>

市民1人当り公園面積(同上) 1.80m²<53.7>